

議 事 録

会 議 名	令和6年第1回田原警察署協議会（定例会）																									
日 時 ・ 場 所	令和6年2月20日（火） 午後3時30分から午後5時00分までの間 ----- 田原警察署講堂																									
出 席 者	<p>1 委員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">太田 隆</td> <td style="width: 33%;">会長</td> <td style="width: 33%;">伊奈 明彦</td> <td>副会長</td> </tr> <tr> <td>小笠原香代子</td> <td>委員</td> <td>天野 亘</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>古橋 雄太郎</td> <td>委員</td> <td>西野 優子</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>松野 美香</td> <td>委員</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上7名（定数8名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">島田 署長</td> <td style="width: 33%;">山本 副署長</td> <td style="width: 33%;">桑高 警務課長</td> </tr> <tr> <td>手塚 会計課長</td> <td>牧野 生活安全課長</td> <td>平尾 地域課長</td> </tr> <tr> <td>田中 刑事課長</td> <td>兵藤 交通課長</td> <td>深津 警備課長</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等 なし</p>	太田 隆	会長	伊奈 明彦	副会長	小笠原香代子	委員	天野 亘	委員	古橋 雄太郎	委員	西野 優子	委員	松野 美香	委員			島田 署長	山本 副署長	桑高 警務課長	手塚 会計課長	牧野 生活安全課長	平尾 地域課長	田中 刑事課長	兵藤 交通課長	深津 警備課長
太田 隆	会長	伊奈 明彦	副会長																							
小笠原香代子	委員	天野 亘	委員																							
古橋 雄太郎	委員	西野 優子	委員																							
松野 美香	委員																									
島田 署長	山本 副署長	桑高 警務課長																								
手塚 会計課長	牧野 生活安全課長	平尾 地域課長																								
田中 刑事課長	兵藤 交通課長	深津 警備課長																								
諮 問 事 項 等	高齢者を交通事故から守るための方策																									
答 申 等 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全講話の効果的な推進（子供を通じた各家庭への浸透） ・ 運転免許証自主返納制度及びサポートカー等の周知 ・ 高齢者保護に向けた指導取締り及び正しい横断方法を周知するための広報の推進 																									
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回開催予定 令和6年5月頃 																									

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長の選出等
	委員の互選により太田隆委員を会長に選出し、会長は、伊奈明彦委員を副会長に指名した。
2	会長挨拶
3	署長挨拶
4	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(2) 管内の交通事故発生状況・速度等取締指針（交通課長説明）
5	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（生活安全課長説明）
	(1) 諮問事項
	侵入盗被害防止対策の推進
	(2) 答申事項
	ア 広報啓発、情報提供、防犯意識の高揚
	(ア) 鍵掛けの徹底
	(イ) 住宅環境の防犯対策の推進
	(ウ) 学校における防犯講話の推進（子供を通じ、各家庭の防犯意識の高揚を図る）
	イ 防犯診断の推進
	(3) 推進施策
	ア 答申事項ア(ア)について
	(ア) 高齢者が集まる敬老会場などで、侵入盗の被害実態を説明し、鍵掛けの徹底をはじめとする防犯講話を実施した。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(イ) 管内のスーパーマーケット、信用金庫において啓発チラシ等を配布し、来店客に鍵かけの徹底を呼び掛けた。	
(ウ) 署正面出入口に鍵かけの啓発メッセージを掲出し、来庁者に対する注意喚起を図った。	
イ 答申事項ア(イ)について	
(ア) ガラス割りによる空き巣被害に遭った住宅を訪問し、再被害の防止のための鍵かけに加え、補助錠や雨戸の使用などの対策について助言した。また、侵入時間が5分以上かかる防犯建物部品、防犯カメラ、センサーライトなどの重要性について説明し、近隣住民等への周知を図った。	
ウ 答申事項ア(ウ)について	
管内の中学校での防犯講話において、侵入盗対策には「鍵かけ」が効果的であることを説明し、家族でも話題にして被害防止に努めることを依頼した。	
エ 答申事項イについて	
防犯設備士、田原市、自治会、ボランティア団体と防犯カメラや防犯灯の必要性、防犯プレートの設置場所の指導などを行い、犯罪を発生させないまちづくりに向けた防犯診断を実施した。	
6 諮問	
(1) 諮問事項	
高齢者を交通事故から守るための方策	
(2) 諮問事項の設定理由 (交通課長説明)	
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
令和5年中の県内の交通事故死傷者数は29,135人で、そのうち高齢者は3,863人で13.2パーセントであるのに対し、田原市内の交通事故死傷者数は194人中高齢者が39人で20.1パーセントを占めており、県内平均を大きく上回っている。よって、田原市内の交通事故を減少させるためには、高齢者の交通事故を減少させることが不可欠であることから諮問事項として設定した。			
7 協議			
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者は、瞬発力、行動力、判断力等が鈍くなっている。自分が運転しているとき、危険な運転をする高齢者を見かけたことがある。 ・ 市内は田舎なので高齢者は車の運転が不可欠だと思うので日常的に家族で安全運転の会話をできるようにする。 ・ 歩いている高齢者を見かけたら不意な行動を予測し、速度を減速し安全運転をすることが大切である。高齢者も目立ちやすい服装、反射材の装着を徹底してもらいたい。（3人の委員から同様の発言がなされた） ・ 高齢者マークの表示を75歳以上の義務化を70歳以上にすることはできないか。高齢者マークを年代別に色分けするのも良いと思う。（1人の委員から同様の発言がなされた） 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の移動手段の確保が必要であると思う。バス利用の拡充やタクシーの相乗り制度等を見直せば、運転免許証の自主返納が増えるのではないか。 		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">記録者</td> <td style="width: 50%;">警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転手は横断歩道の手前では必ず止まることを徹底する。 		
	<p>また、横断歩道に高齢者がいたら必ず横断させて高齢歩行者も「手を上げる」「運転手と目を合わす」などの意思表示をするとよい。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人会や運転免許証の更新などで「自分の身は自分で守る」などの注意喚起 や「自己防衛ポイント」を伝えるとよい。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車に乗るときは必ずヘルメットをかぶるように購入助成金制度があるとよい。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管内の過去5年高齢者死傷者数を見ると、追突、出会い頭の事故が多いので多発する事故の講話等を重点的に行うとよい。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者マークを表示するのを徹底し、周りが高齢者を気遣う運転をする。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先日、車で直進走行しているといきなり車が右折してきた。通り過ぎたあと、確認すると高齢者マークが表示されていたので前にも表示すると危険を早く回避できる。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に直接啓発する場が減ってきている。パトロールを強化し、ポスター、回覧板等での呼びかけを増やすとよい。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に「事故に遭わない、起こさない」を徹底させ、運転手には高齢者が予期せぬ行動を起こすことを理解してもらい「かもしれない運転」を厳守してもらう。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の家族のことを考え、車を購入する際はサポートカーを検討する。 		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨			
	<ul style="list-style-type: none"> 道路標識を大きくし、光る標識の導入はできないか。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者は黒っぽい服装が多いので明るい服装で外出させるよう、広報活動を行ってほしい。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> 自治会、老人会等において高齢者事故の情勢を伝え、チラシ等を配布する。（2人の委員から同様の発言がなされた） 		
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者事故が多発する現場において高齢者マークの配色にした看板を設置し、旗なども作成し交通監視を行う。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> 自主返納の目安年齢があってもよいと思う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 家族が高齢者に運転をやめさせると認知症になるとの思い込みがあるので、家族に事故を発生させたあとの責任を理解させ、家族責任で運転免許証の返納を可能にしてもよいと思う。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 身体機能が低下していることを自覚してもらうために認知検査などを積極的に行ってもらい自分の衰えを自覚させ、運転免許証の更新も1年にした方がよいと思う。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> 家族も高齢者が車を使用するときは「遠くに行かない」「暗い時間帯の外出は控える」等の注意を払う必要がある。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 狭い道路は、運転手に注意喚起させ、標識を設置するとよい。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 夕暮れ時の外出は、靴にも反射シールを貼るとよい。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 児童、生徒に交通講話を行い、帰宅後に両親や祖父母に注意喚起してもらう。特に祖父母は孫の言うことはよく聞く。 		
	(3人の委員から同様の発言がなされた)		
8	答申		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

